

住宅用火災警報器 定期的に点検・ 10年を目安に交換を！

簡単に点検ができます。
アラームが鳴れば正常です。

就寝中に発生した住宅火災で多くの人が亡くなっています。対策として住宅用火災警報器の設置が義務化されましたが、古くなると電池の消耗や部品の劣化で正常に感知しないことも考えられます。住宅用火災警報器は定期的に点検し、10年を目安に交換しましょう。

■予防広報課



リチウムイオン電池の 取扱いに注意

リチウムイオン電池は、スマートフォンやノートパソコンなどに幅広く使われ、これらが原因の火災も発生しています。市内で発生したリチウムイオン電池を調べると「強い衝撃を受けていた」「指定以外の充電器が使われていた」「自分でスマートフォンバッテリーを交換しようとしていた」「リコールに気が

づかず使い続けていたなどの要因がありました。また、発火前に異常を感じていたケースも多く、次のような症状があれば、使用をやめて販売店やメーカーに相談してください。

▽バッテリー部分が異常に熱くなる
▽充電中に変な臭いがする
▽使用時間が極端に短くなったなど
【被害が小さくても通報を】
消防局では、リチウム



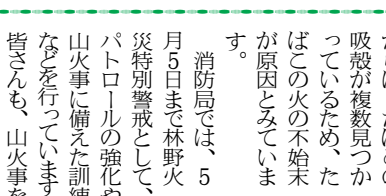
昨年発生した山火事の現場

■図警備課



発火したモバイルバッテリー

■図警備課



このポイントには絶対にしてはいけない「指定された場所以外でキャンプやバーベキュー、たき火をしない」などをしっかりとマナーを守りましょう。

また、山から上がる不審な煙を見つけた場合は、迷わずに119番通報をお願いします。早期通報が被害を最小限にします。

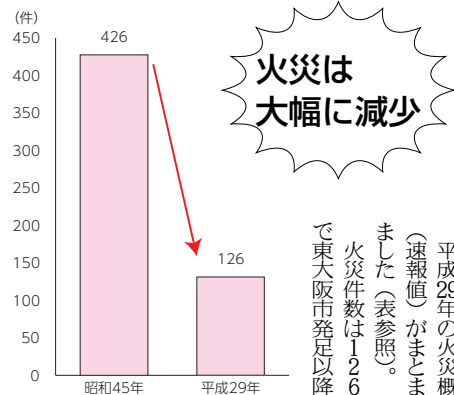


前年との比較		平成29年	平成28年
火災件数		126件	137件
種別	建 物	91件	105件
	車 両	13件	17件
	林 野	1件	0件
	その他	21件	15件
死 者		4人	6人
負 傷 者		31人	32人

平成29年の火災原因トップ3

- 1位 放火（疑いを含む） 22件
- 2位 たばこ 15件
- 3位 こんろ 14件

※速報値のため変動することがあります。



火災は
大幅に減少

平成29年の火災概況（速報値）がまとまりました（表参照）。火災件数は126件で東大阪市発足以降、

最少の件数でした。最も火災が多かったのは昭和45年の426件で、このとき比べると大幅に減少していることがわかります（グラフ参照）。火災の減少は、一人ひとりの防火・防災意識の高まりがもたらした結果だと考えられます。

しかし、ちょっとした注意で防ぐことのできた火災も多くあります。もう少し、一人ひとりが気をつけば火災ゼロも夢ではありません。

春の全国火災予防運動

3月1日～7日



消防フェアの様子

3月1日から春の全国火災予防運動が始まります。年度末が近づくと、事業所だけでなく、家庭でも新年度の準備などで慌ただしくなっている中、3月1日から春の全国火災予防運動が始まります。消防フェアを開催し、消防団員による放水訓練（上）と水害に備えた訓練（右）が行われました。

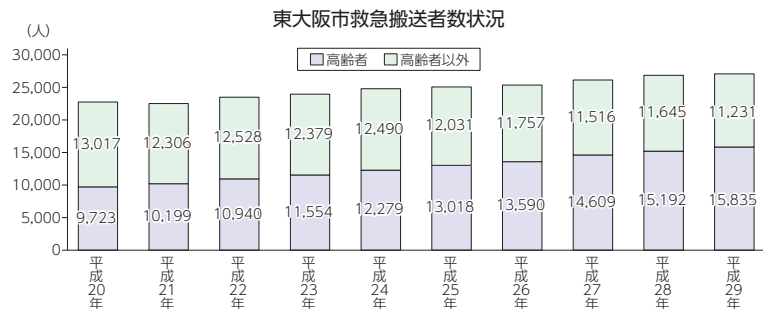
消防団員は、普段それぞれの仕事をしながら、いつ発生するかわからない災害に備えて休日に訓練を重ねています。そして、いざ災害が発生すれば昼夜を問わず出動し、消防・救助活動を行います。地域の絆や歴史、普段の仕事で得た経験などを最大限に活用して積極的に活動しています。

現在、市には学生や主婦、働いている方など11人の女性消防団員が在籍し、男性の団員と違った女性の視点で地域防災を支えています。特に広報活動や応急手当の指導など、

は、きめ細かく、やさしく、思いやりに満ちた活動が高い評価を得ています。

総務課

家の中に潜む危険



東大阪市救急搬送者数状況

身近に起こる事故～原因トップ4と対策

◆第1位 転倒 （階段、玄関、廊下など）

- ▷階段はつまづかないように注意
- ▷転倒を防ぐため整理整頓
- ▷階段、玄関、廊下、浴室などには滑り止め対策を



◆第2位 転落 （階段、ベッド、脚立、いすなど）

- ▷階段などには手すりを配置
- ▷ベッドにも転落防止の柵を
- ▷脚立などは補助者に支えてもらう



◆第3位 窒息 （餅・肉などの食物、薬の包装など）

- ▷細かく調理し、ゆっくりよく噛む
- ▷お茶などの水分をとりながら食事
- ▷急に話しかけて慌てさせないように



◆第4位 ぶつかる （家具、人、柱、ドアなど）

- ▷慌てず周りをよく見て行動
- ▷通路などに物を置かない
- ▷暗いところは十分な明るさを確保



救急車での搬送者数はここ数年増加傾向にあります。さらに、搬送者の状況を分析すると高齢者（65歳以上）の占める割合が増加していることがわかります（グラフ参照）。

高齢者の搬送原因を調べると、家の中で発生した事故が多くあります。身近に起こる事故の原因を知り、対策をしましょう。

図警備課

自らの地域は自らが守る！ 消防団の活動を紹介



消防団員による放水訓練（上）と水害に備えた訓練（右）

消防団の主な活動

1月	消防出初式
2月	林野火災総合訓練
3月	春の全国火災予防運動
4月	恩智川水防訓練
5月	大阪府地域防災総合演習
7月	中河内地区支部消防総合訓練
9月	大阪府消防大会・消防操法訓練大会
11月	秋の全国火災予防運動
12月	歳末火災特別警戒

※このほか、府立消防学校の研修や各地域での訓練などがあります。

女性の視点で 地域防災を支える



応急手当の指導を行う女性消防団員

現在、市には学生や主婦、働いている方など11人の女性消防団員が在籍し、男性の団員と違った女性の視点で地域防災を支えています。特に広報活動や応急手当の指導など、

は、きめ細かく、やさしく、思いやりに満ちた活動が高い評価を得ています。

総務課